

第2 - (1) - 1図 生活に満足を持つ者の割合の推移  
(単位 %) )

年 月	生活全体	所得・ 収入	レジャー・ 余暇生活
1958年 2月	60.0		
1959年 1月	66.2		
1960年 1月	59.3		
1961年 1月	60.9		
1962年 1月	60.6		
1963年 1月	63.6		
1964年 1月	61.0		
1965年 1月	60.2		
1966年 1月	58.4		
1967年 2月	60.6		
1968年 1月	64.1		
1969年 1月	63.5		
1970年 1月	64.9		
1971年 1月	57.4		
1972年 1月	59.5		
1973年 1月	60.5		
1974年 1月	53.9		
1974年 11月	50.4		
1975年 5月	60.3		
1975年 11月	58.3		
1976年 5月	61.2		
1976年 11月	60.3		
1977年 5月	64.2		
1978年 5月	64.3		
1979年 5月	67.5		
1980年 5月	62.6		
1981年 5月	63.9		
1982年 5月	65.8		
1983年 5月	64.8		
1984年 5月	65.4		
1985年 5月	70.6		
1986年 5月	68.2		
1987年 5月	64.6		
1988年 5月	64.6		
1989年 5月	63.1		
1990年 5月	66.8		
1991年 5月	67.1		
1992年 5月	69.3	49.3	56.1
1993年 5月	69.8	48.6	57.0
1994年 5月	65.3	44.2	54.5
1995年 5月	72.7	51.5	60.3
1996年 7月	69.9	49.1	57.3
1997年 5月	66.5	46.7	56.7
1999年 12月	63.7	44.0	55.5
2001年 9月	61.5	40.8	56.3
2002年 6月	60.9	42.9	58.9
2003年 6月	58.2	39.0	56.8
2004年 6月	59.8	41.6	55.8
2005年 6月	59.5	41.0	56.5
2006年 10月	66.5	42.2	58.4
2007年 7月	62.7	41.4	56.0

## 第2 - (1) - 2図 仕事の満足度 (主要項目別)

(単位 %) )

年	仕事の やりがい	雇用の 安定	休暇の 取りやすさ	収入の 増加
1978	30.5	33.0	28.4	23.7
1981	31.9	34.4	29.2	22.1
1984	31.0	33.9	27.9	19.1
1987	21.7	27.1	20.6	14.4
1990	20.1	25.5	22.4	15.7
1993	21.4	22.9	25.5	14.1
1996	18.3	17.5	22.4	10.7
1999	16.1	14.0	21.7	7.9
2002	16.3	12.3	22.2	5.5
2005	16.6	14.8	18.3	6.2

## 第2 - (1) - 3図 年齢階級別生活に満足感を持つ者の割合の推移 (生活全体)

(単位 %) )

年齢階級	男女計				男性				女性			
	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7
年齢計	69.3	66.5	60.9	62.7	65.5	62.6	58.4	59.0	72.5	69.9	63.0	66.0
20～34歳	68.3	70.2	65.0	69.3	60.1	64.8	62.6	64.0	73.9	74.7	67.1	74.0
35～54歳	66.6	63.7	56.8	60.9	61.6	60.4	52.9	57.8	70.6	66.3	60.0	63.6
55歳以上	73.1	67.7	62.4	61.9	72.1	63.7	61.0	58.3	74.2	71.5	63.7	65.1

## 第2 - (1) - 4図 年齢階級別生活に満足感を持つ者の割合の推移 (所得・収入)

(単位 %) )

年齢階級	男女計				男性				女性			
	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7
年齢計	49.3	46.7	42.9	41.4	45.7	42.4	41.6	37.8	52.5	50.4	44.1	44.6
20～34歳	44.5	46.7	42.7	45.0	39.2	42.3	40.8	39.7	48.1	50.5	44.4	49.7
35～54歳	47.0	45.5	39.4	40.3	42.7	40.1	36.2	35.6	50.4	49.8	42.0	44.3
55歳以上	55.0	47.9	45.9	41.1	51.7	44.7	46.1	38.6	58.4	51.1	45.8	43.2

## 第2 - (1) - 5図 年齢階級別生活に満足感を持つ者の割合の推移 (レジャー・余暇時間)

(単位 %) )

年齢階級	男女計				男性				女性			
	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7
年齢計	56.1	56.7	58.9	56.0	53.9	54.7	57.2	53.5	58.0	58.5	60.3	58.2
20～34歳	57.1	63.7	63.8	66.9	54.1	62.6	62.5	62.8	59.1	64.7	64.9	70.4
35～54歳	51.3	52.9	53.6	50.1	47.3	49.7	51.6	46.8	54.5	55.4	55.4	52.9
55歳以上	61.5	57.4	60.9	56.5	61.0	55.8	59.3	54.9	62.1	58.9	62.4	57.9

第2 - (1) - 6図 実質経済成長率および完全失業率の推移  
(単位 %) )

年	実質経済成長率	完全失業率
1980	2.7	2.0
81	2.9	2.2
82	2.8	2.4
83	1.6	2.6
84	3.1	2.7
85	5.1	2.6
86	3.0	2.8
87	3.8	2.8
88	6.8	2.5
89	5.3	2.3
90	5.2	2.1
91	3.4	2.1
92	1.0	2.2
93	0.2	2.5
94	1.1	2.9
95	2.0	3.2
96	2.7	3.4
97	1.6	3.4
98	-2.0	4.1
99	-0.1	4.7
2000	2.9	4.7
01	0.2	5.0
02	0.3	5.4
03	1.4	5.3
04	2.7	4.7
05	1.9	4.4
06	2.4	4.1

第2 - (1) - 7図 年齢階級別働く目的 (2007年)

(単位 %)

年齢階級	お金を得るため	社会の一員として 務めを果たすため	自分の才能や能力を 発揮するため	生きがいを みつけるため
年齢計	49.4	14.1	9.6	22.2
20～24歳	54.4	9.7	18.5	16.6
25～29歳	56.3	9.4	16.8	16.1
30～34歳	65.9	13.3	11.8	6.8
35～39歳	63.8	11.3	11.3	11.9
40～44歳	64.7	13.6	10.4	9.5
45～49歳	57.4	14.9	10.0	15.5
50～54歳	55.7	13.5	10.3	19.3
55～59歳	55.6	14.8	6.1	22.3
60～64歳	41.2	15.5	7.8	29.5
65～69歳	35.2	16.3	8.2	31.6
70歳以上	31.6	15.3	7.6	34.1

第2 - (1) - 8図 年齢階級別理想的な仕事 (2007年・複数回答)

(単位 %)

年齢階級	収入が安定している仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力がいかせる仕事	健康を損なう心配がない仕事	世の中のためになる仕事	失業の心配がない仕事	高い収入が得られる仕事
年齢計	51.0	46.5	32.2	19.1	14.3	14.0	7.7
20～24歳	49.4	58.7	37.1	8.1	15.1	9.3	13.1
25～29歳	55.9	51.4	37.8	10.5	12.9	11.2	12.9
30～34歳	64.7	49.6	34.6	13.8	9.5	12.3	10.0
35～39歳	59.4	47.7	35.0	14.0	13.5	14.8	8.5
40～44歳	59.0	46.2	38.9	12.7	12.7	14.9	9.0
45～49歳	54.2	47.9	37.5	13.4	16.1	13.8	9.2
50～54歳	53.7	48.9	35.2	14.7	14.9	14.9	8.5
55～59歳	53.5	44.8	33.9	19.7	14.7	15.1	8.1
60～64歳	45.6	49.8	30.3	21.8	15.2	16.0	4.9
65～69歳	44.6	46.2	30.4	25.2	15.6	12.8	5.9
70歳以上	41.3	39.0	22.7	29.5	14.8	13.9	4.8

第2 - (1) - 9図 収入と自由時間についての考え方の推移

(単位 %)

年 月	収入をもっと増やしたい	自由時間をもっと増やしたい	どちらともいえない
1993年 5月	51.2	28.9	16.7
1994年 5月	53.3	29.4	14.9
1995年 5月	49.6	28.7	18.7
1996年 7月	47.1	33.2	17.7
1997年 5月	49.2	31.4	16.9
1999年 12月	48.7	34.2	14.5
2001年 9月	44.4	32.0	20.8
2002年 6月	44.1	35.4	17.8
2003年 6月	46.0	34.8	16.7
2004年 6月	45.2	32.7	19.2
2005年 6月	43.9	31.2	22.1
2006年 10月	48.0	38.4	11.7
2007年 7月	44.7	37.7	15.2

第2 - (1) - 10図 年齢階級別収入と自由時間についての考え方の推移

(単位 %)

年齢階級	心の豊かさ				物の豊かさ			
	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7	1992/5	1997/5	2002/6	2007/7
年齢計	57.2	56.3	60.7	62.6	27.3	30.1	27.4	28.6
20～34歳	52.7	53.3	54.1	56.7	34.3	35.5	35.9	37.5
35～54歳	55.3	57.3	60.3	61.1	30.5	31.4	28.2	31.8
55歳以上	62.2	56.9	63.8	65.3	19.4	26.1	23.0	23.9

第2 - (1) - 11図 心の豊かさか、ものの豊かさか  
(単位 %) )

年 月	心の豊かさ	ものの豊かさ
1972年 1月	37.3	40.0
1973年 1月	35.3	40.3
1974年 1月	36.7	41.6
1974年11月	36.1	41.3
1975年 5月	38.8	40.9
1975年11月	36.8	41.3
1976年 5月	41.3	40.7
1976年11月	39.9	41.4
1977年 5月	41.1	40.1
1978年 5月	39.5	40.4
1979年 5月	40.9	40.3
1980年 5月	42.2	39.8
1981年 5月	44.3	38.8
1982年 5月	44.8	37.6
1983年 5月	46.4	36.8
1984年 5月	46.5	36.8
1985年 5月	49.6	32.9
1986年 5月	49.1	32.7
1987年 5月	49.6	34.0
1988年 5月	50.3	32.0
1989年 5月	49.3	32.7
1990年 5月	53.0	30.8
1991年 5月	52.0	30.5
1992年 5月	57.2	27.3
1993年 5月	57.4	29.0
1994年 5月	57.2	30.0
1995年 5月	56.8	28.1
1996年 7月	58.8	27.9
1997年 5月	56.3	30.1
1999年12月	57.0	29.3
2001年 9月	-	-
2002年 6月	60.7	27.4
2003年 6月	60.0	28.7
2004年 6月	59.0	29.1
2005年 6月	57.8	28.4
2006年10月	62.9	30.4
2007年 7月	62.6	28.6

第2 - (1) - 12図 心の豊かさか、ものの豊かさか (年齢階級別)  
(単位 %)

年齢階級	自由時間をもっと増やしたい			収入をもっと増やしたい		
	1997/5	2002/6	2007/7	1997/5	2002/6	2007/7
年齢計	31.4	35.4	37.7	49.2	44.1	44.7
20～34歳	33.1	40.3	36.4	55.5	50.2	55.6
35～54歳	31.7	35.9	38.7	54.4	51.0	52.0
55歳以上	30.2	32.9	37.5	40.3	35.9	36.8

本文図表基礎資料

第2 - (1) - 13図 日本型雇用慣行等に関する評価

(単位 %)

性・年齢階級	長期雇用		年功的賃金体系		組織の一体感		
	1999年	2007年	1999年	2007年	1999年	2007年	
男性	20～29歳	64.5	84.5	51.9	76.6	86.7	92.2
	30～39歳	66.0	84.6	50.5	62.1	83.0	91.0
	40～49歳	70.4	85.5	54.1	71.5	79.8	94.1
	50～59歳	70.4	82.5	61.1	73.9	81.0	87.7
	60～69歳	76.3	89.9	62.4	74.3	82.2	90.3
	70歳以上	79.1	88.6	73.5	79.9	72.8	85.5
女性	20～29歳	68.9	78.3	59.6	74.5	73.4	92.5
	30～39歳	71.5	87.0	61.3	65.1	76.1	91.1
	40～49歳	71.2	87.1	56.5	65.9	67.1	87.2
	50～59歳	71.3	88.5	59.5	70.6	66.9	76.7
	60～69歳	74.3	83.5	71.6	70.7	65.0	74.8
	70歳以上	87.0	87.0	72.7	78.4	65.8	68.3

第2 - (1) - 14図 日本型雇用慣行の変化に関する評価

(単位 %)

性・年齢階級	福利厚生 の 給与化		自己啓発型能力開発		
	1999年	2007年	1999年	2007年	
男性	20～29歳	55.7	64.5	81.6	81.1
	30～39歳	53.8	69.9	70.2	77.6
	40～49歳	52.4	64.9	74.3	70.9
	50～59歳	50.6	62.8	70.5	69.7
	60～69歳	46.7	61.7	75.8	74.8
	70歳以上	42.0	61.9	70.0	72.6
女性	20～29歳	52.7	61.3	67.0	80.2
	30～39歳	57.9	64.6	69.9	73.4
	40～49歳	55.4	76.1	73.1	80.5
	50～59歳	47.7	70.6	68.8	71.0
	60～69歳	48.0	62.4	64.6	66.9
	70歳以上	44.1	53.6	60.2	56.1

第2 - (1) - 15図 望ましい職業キャリア

(単位 %)

性・年齢階級	一企業キャリア		複数企業キャリア		独立自営キャリア		
	1999年	2007年	1999年	2007年	1999年	2007年	
男性	20～29歳	33.0	51.1	31.0	28.9	27.2	14.4
	30～39歳	38.3	44.3	31.3	33.3	19.2	16.0
	40～49歳	40.1	52.3	26.0	22.5	19.1	11.3
	50～59歳	39.6	53.1	21.9	20.2	20.3	18.1
	60～69歳	43.5	47.5	22.2	25.2	19.3	13.4
	70歳以上	40.6	58.2	13.3	14.9	16.8	16.0
女性	20～29歳	39.4	31.1	35.4	54.7	10.9	8.5
	30～39歳	45.7	45.8	31.7	32.3	9.8	9.9
	40～49歳	37.3	50.0	27.6	32.3	11.5	7.0
	50～59歳	40.5	45.8	20.9	24.5	13.7	8.8
	60～69歳	41.1	51.5	13.8	18.8	10.6	10.9
	70歳以上	45.3	50.4	7.5	9.3	8.0	9.0

第2 - (1) - 16図 どのような人に分配されるべきかについての考え方

(単位 %)

性・年齢階級	実績を上げた人		努力した人		必要としている人		誰でも同じように		
	1999年	2007年	1999年	2007年	1999年	2007年	1999年	2007年	
男性	20～29歳	85.4	92.2	82.2	85.6	29.8	35.6	13.3	15.6
	30～39歳	84.6	91.1	78.7	87.2	30.3	30.7	11.2	14.1
	40～49歳	83.0	86.8	83.8	86.8	32.5	34.5	16.9	17.2
	50～59歳	77.3	80.8	85.4	85.1	30.0	37.2	13.8	24.4
	60～69歳	76.2	79.4	88.1	88.6	34.4	26.4	27.3	21.4
	70歳以上	74.1	89.1	82.5	88.7	37.1	27.8	28.0	21.7
女性	20～29歳	81.3	92.4	81.3	94.3	30.1	40.6	20.7	22.6
	30～39歳	78.1	88.0	86.7	92.2	27.7	29.7	17.1	16.2
	40～49歳	76.8	86.7	85.2	92.0	24.0	32.7	16.3	15.5
	50～59歳	71.4	75.6	84.1	88.5	29.9	30.9	20.0	22.2
	60～69歳	72.4	80.0	86.2	88.3	32.1	34.2	24.8	26.3
	70歳以上	72.7	80.4	81.4	86.1	33.5	28.4	28.5	24.4

本文図表基礎資料

第2 - (1) - 18図 求職理由別失業者割合

(単位 %)

年齢階級	非自発的離職失業者				自発的離職失業者			
	1995年	2000年	2005年	2007年	1995年	2000年	2005年	2007年
年齢階級計	26.2	31.9	34.0	32.7	39.5	34.1	37.4	38.9
15～24歳	13.0	11.6	12.7	12.0	42.6	34.8	34.5	38.0
25～34歳	18.0	22.6	23.8	20.8	52.0	46.4	48.8	51.9
35～44歳	22.6	33.3	34.6	33.3	41.9	40.5	44.2	43.8
45～54歳	32.3	41.5	42.9	42.5	41.9	32.1	38.1	40.0
55～64歳	50.0	55.0	60.8	57.1	18.4	16.7	19.6	22.4
65歳以上	50.0	45.5	60.0	63.6	16.7	9.1	10.0	9.1

第2 - (1) - 19図 自己都合による離職の理由別転職者割合 (複数回答)

(単位 %)

年齢階級	自己都合により前の会社を辞めた転職者計												
	会社の将来に不安を感じたから	満足のいく仕事内容でなかったから	賃金以外の労働条件がよくなかったから	賃金が低かったから	いろいろな会社で経験を積みたいから	能力・実績が正当に評価されないから	他により仕事があったから	人間関係がうまくいかなかったから	結婚・出産・育児・介護のため	病気・ケガのため	取りあえず転職を試みたから		
年齢計	100.0	30.9	29.4	29.0	23.2	13.0	17.8	12.0	14.2	6.0	3.9	1.9	
34歳未満	100.0	32.3	31.9	30.7	24.5	17.7	14.6	13.3	12.3	6.5	3.7	1.8	
35～54歳	100.0	29.9	26.4	28.6	22.2	6.9	21.0	10.1	16.0	6.0	3.6	1.3	
55歳以上	100.0	23.1	23.8	14.9	16.4	7.2	29.2	11.0	20.5	0.3	6.9	7.4	

第2 - (1) - 20図 転職に必要な支援の要望別転職者割合 (複数回答)

(単位 %)

年齢階級	合計	より多くの求人情報の提供	企業年金・退職金が不利にならないような制度の改善	職業紹介サービスの充実	金銭面での能力開発・自己啓発の支援	個人の職業能力を診断・認定する資格制度の充実	職業能力開発のサービスの充実	特に希望することはない
年齢計	100.0	41.7	31.5	27.8	17.3	17.0	14.0	11.4
34歳未満	100.0	44.9	29.2	28.5	18.5	16.1	14.8	9.8
35～54歳	100.0	40.7	35.7	28.5	16.7	17.1	12.0	11.2
55歳以上	100.0	29.6	27.0	21.4	12.9	21.2	17.4	20.6

第2 - (1) - 21図 就業状態別就業者割合

(単位 %)

年齢階級	自営業主				雇用者			
	1995年	2000年	2005年	2007年	1995年	2000年	2005年	2007年
年齢階級計	13.1	10.1	8.6	8.2	80.2	85.5	87.8	88.9
15～24歳	1.7	1.2	1.0	0.9	94.5	96.5	97.2	98.0
25～34歳	7.3	3.7	3.1	3.0	86.7	93.1	94.5	95.2
35～44歳	14.2	9.0	6.4	5.9	78.6	86.6	90.7	91.8
45～54歳	16.4	12.6	8.9	8.2	76.7	82.5	87.8	89.2
55～64歳	20.2	17.0	14.2	12.9	71.4	77.1	81.0	83.1
65歳以上	36.9	31.7	31.3	29.1	50.3	58.5	59.6	62.6

第2 - (1) - 22図 青少年の転職に対する考え方 (各国比較)

(単位 %)

国名	一生一つの職場で働き続けるべき	転職することもやむを得ない	不満があれば転職する方がよい	積極的に転職する方がよい	わからない
日本	10.3	53.0	17.9	14.2	4.6
韓国	8.4	43.0	19.0	27.7	1.9
ドイツ	2.1	34.4	49.2	11.1	3.1
アメリカ	2.5	21.9	56.2	15.0	4.4
スウェーデン	0.8	6.1	49.7	42.0	1.5

第2 - (1) - 23図 若年者の職場生活に対する満足度 (各際比較)

(単位 %)

週労働時間	満足	やや満足	やや不満	不満
日本	26.3	45.0	18.7	6.5
韓国	31.9	40.3	18.9	5.4
ドイツ	49.6	36.5	7.6	3.4
アメリカ	50.9	31.9	10.4	6.3
スウェーデン	47.7	38.4	9.0	3.4

第2 - (1) - 24図 学校へ行くことが「職業的スキルを身につける意義がある」と思う者の割合の国際比較

(単位 %)

年	日本	ドイツ	スウェーデン	アメリカ	韓国
1983年	19.8	15.1	53.8	41.0	26.2
88	20.4	15.0	52.3	43.8	24.1
93	17.8	13.2	41.5	40.6	22.2
98	22.3	32.5	47.8	57.0	35.6
2003	22.2	25.6	49.9	51.7	32.1

第2 - (1) - 25図 学習と仕事を関連づけて考える者の割合

(単位 %)

国名	科学を勉強することは、自分自身にとって役立つ	科学を勉強することは、将来やりたい仕事に就くために役立つ	科学を勉強することは、自分のキャリアビジョンを向上させるために役立つ	科学を勉強することは、職を得るために役立つ	科学を勉強することは、将来学びたいことを学ぶために必要
日本	41.8	46.7	41.0	38.7	42.2
アメリカ	76.7	78.4	69.7	70.1	68.1
イギリス	74.6	71.2	71.0	65.5	53.9
フランス	67.1	59.1	61.1	48.0	51.8
ドイツ	66.1	57.7	55.3	50.2	47.6
スウェーデン	62.2	61.9	62.8	51.8	54.8
韓国	55.4	56.7	51.9	46.2	45.5
OECD平均	66.6	62.8	61.3	56.0	55.7



図2 - (1) - 26 図 各国年齢階級別女性労働力率

(単位 %)

国名	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～
日本	16.6	70.1	75.5	62.8	63.6	71.4	74.0	70.5	60.3	40.2	12.9
米国	43.6	69.5	75.2	73.6	74.6	77.1	77.2	74.7	66.7	47.0	11.7
英国	55.6	71.1	77.0	75.9	75.4	80.2	81.5	77.0	64.3	33.0	4.5
イタリア	8.4	43.9	64.7	68.5	68.2	66.1	62.3	54.0	32.8	10.2	1.2
ドイツ	27.3	67.1	75.8	77.1	79.9	84.2	83.6	78.8	66.0	24.8	2.3
フランス	8.9	49.6	78.9	78.4	82.6	83.2	84.3	79.1	57.0	17.4	0.8
スウェーデン	43.4	68.9	81.7	86.5	87.3	88.0	87.7	85.7	80.4	58.6	6.8
韓国	8.9	59.1	67.5	53.1	59.6	65.6	64.4	58.5	49.7	43.8	22.7

図2 - (1) - 27 図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について (国際比較)

(単位 %)

性別	国	賛成	どちらからといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない・ 無回答
男性	日本	12.4	34.1	26.8	19.3	7.4
	韓国	2.7	17.5	55.6	21.4	2.7
	ドイツ	6.0	18.4	38.4	35.5	1.7
	アメリカ	4.8	16.9	29.2	47.6	1.5
	イギリス	3.0	6.5	25.7	62.9	1.9
	スウェーデン	2.7	6.2	7.0	81.2	2.9
女性	日本	8.1	28.7	31.7	25.6	6.0
	韓国	3.2	10.0	60.2	24.9	1.7
	ドイツ	3.6	10.9	32.1	52.9	0.5
	アメリカ	6.2	11.9	27.5	53.5	1.0
	イギリス	2.2	7.5	23.2	65.6	1.5
	スウェーデン	0.5	3.5	4.9	88.3	2.8

第2 - (1) - 28 図 女性の年齢階級別現在の就業形態選択理由

(正社員)

(単位 %)

年齢階級	正社員として就職 するのがあたりま えだと思っただから	長期間働き続ける ことができるから	仕事を通じて職業 能力を高めること ができるから	責任のある仕事を 担えるから	高い賃金が得られ るから	正社員以外の職を希 望したが、周囲の反 対があったから
15～34歳	61.0	35.6	17.6	17.2	11.0	2.0
35～54歳	52.1	50.5	17.2	22.1	12.1	0.6
55歳以上	48.6	57.1	22.9	35.2	8.6	0.0

(非正社員)

(単位 %)

年齢階級	正社員にはな れなかったから	通勤が容易だ から	自分の都合の 良い時間に働 きたいから	家事・育児等 の事情で正社 員としては働 けないから	組織に縛られ ないから	勤務時間・日 数が短いから	専門的な知 識・技術を活 かせるから	正社員として 働くのは体力 的に困難だか ら
15～34歳	33.5	24.9	21.5	19.6	13.2	12.2	10.5	5.4
35～54歳	29.0	38.5	33.2	25.7	8.0	17.7	10.8	6.0
55歳以上	29.2	47.9	24.3	6.3	8.3	22.2	7.6	9.7

第2 - (1) - 29 図 女性が職業をもつことについての国際比較

(単位 %)

項目	日本	韓国	フィリピン	アメリカ	スウェーデン	ドイツ	イギリス
女性は職業をもたないほうがよい	3.3	1.7	6.6	1.4	0.3	0.4	0.4
結婚するまでは職業をもつほうがよい	5.7	4.5	27.5	0.5	0.0	2.1	0.7
子供ができるまでは職業をもつほうがよい	9.3	5.9	12.1	3.7	0.5	8.9	4.4
子供ができてずっと職業をつづける	39.8	48.3	39.1	54.6	76.6	50.6	50.7
子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい	36.5	36.0	13.9	18.4	6.3	31.5	21.9
その他	1.2	1.1	0.3	17.7	7.4	4.3	21.1
わからない・無回答	4.2	2.5	0.5	3.7	8.9	2.2	0.8

図2 - (1) - 30図 各国労働者のパートタイム比率  
(単位 %)

国名	2003年	2006年
スイス	23.2	25.5
イギリス	23.7	23.4
ドイツ	19.6	21.9
日本	18.1	17.6
OECD平均	15.8	16.1
イタリア	12.0	14.9
スウェーデン	15.8	13.4
フランス	12.8	13.3
アメリカ	13.2	12.6
韓国	4.5	8.8

図2 - (1) - 31図 高齢者の就業継続意欲 (国際比較)

(単位 %)

国名	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年
日本	94.4	90.6	91.7	89.4	90.1	87.5
米国	87.2	90.6	95.2	90.0	86.1	87.8
韓国	69.2	-	65.6	79.9	82.8	90.6
ドイツ	-	-	87.5	69.4	91.1	63.1
フランス	79.0	-	-	-	-	42.9

図2 - (1) - 32図 各国の65歳以上労働力率

(単位 %)

国名	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
日本	27.9	26.3	24.3	24.3	24.5	22.6	21.8	20.8	20.2	19.8	19.8	19.8
アメリカ	13.8	12.5	10.8	11.8	12.1	12.9	13.0	13.2	14.0	14.4	15.0	15.4
カナダ	-	8.0	7.4	6.7	6.2	6.0	6.1	6.7	7.5	7.7	8.1	8.2
イギリス	-	-	5.2	5.6	5.3	5.3	4.8	5.5	5.9	6.1	6.4	6.9
イタリア	5.7	7.5	4.8	4.3	3.7	3.3	3.4	3.5	3.4	3.2	3.1	3.3
ドイツ	6.8	4.5	3.3	3.0	2.5	2.7	2.8	2.9	2.9	2.8	3.4	3.5
フランス	9.1	5.4	3.4	2.4	1.7	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.1

図2 - (1) - 33図 就労を希望する理由の国際比較

(単位 %)

調査年・国名	収入がほしいから	仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから	仕事を通じて友人や、仲間を得ることができるから	働くのは体によいから、老化を防ぐから	その他
1980年					
日本	38.7	7.7	16.1	29.8	3.0
アメリカ	26.7	32.8	27.2	10.8	2.6
韓国	69.7	8.1	5.1	12.2	4.3
ドイツ	15.2	54.3	4.3	17.4	6.5
フランス	15.4	43.9	15.4	13.8	8.9
2005年					
日本	47.5	13.8	7.5	31.3	0.0
アメリカ	36.9	17.5	16.5	27.2	0.0
韓国	63.2	19.2	0.5	17.0	0.0
ドイツ	48.8	36.6	0.0	8.5	1.2
フランス	42.9	37.5	1.8	16.1	1.8

第2 - (1) - 34図 週60時間以上の労働者の比率 (国際比較)

(単位 %)

項目	韓国	日本	アメリカ	フランス	スイス	スペイン	イギリス
60時間以上労働者比率	24.9	13.0	7.6	6.5	6.2	4.0	3.8

第2 - (2) - 1図 新入社員の会社の選択理由（複数回答）

(単位 %)

年	自分の能力、個性が生かせるから	会社の将来性を考えて	技術が覚えられるから	仕事がおもしろいから	実力主義の会社だから	給料が高いから	どこへも行くところがなくやむなく	一流会社だから	地理的条件がいいから	経営者に魅力を感じたから	労働時間が短く、休日が多いから	寮・グラウンドなど福利厚生施設が充実しているから
1987年	30.0	21.0	11.0	8.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0
1997	27.0	14.0	12.0	14.0	6.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0
2007	28.8	9.0	14.1	21.3	3.2	3.6	3.2	5.0	3.8	4.7	0.8	1.6

第2 - (2) - 2図 求職活動の際に重視した条件

(単位 %)

性・年齢階級	仕事の内容	勤地・通勤の便	労働時間・休日・休暇	採用後の年収(賃金)	会社の将来性・安定性	会社の規模	会社の知名度	職場の人間関係	職場の作業環境	福利厚生	転勤の有無や頻度	能力開発の機会	経営理念・社風	仕事と家庭が両立できるか	昇進やキャリアアップの将来性	採用後の地位	セクハラ・パワハラがない職場か	女性を活用する職場かどうか	
男性	22歳未満	60.0	42.2	41.4	31.4	25.5	19.2	10.6	9.6	8.4	6.7	5.7	5.1	1.6	1.4	0.8	0.4	0.2	
	22~24歳	61.3	43.9	32.8	21.9	30.9	19.0	8.7	6.3	9.3	6.6	9.8	13.8	2.8	4.0	0.5	0.3	0.2	
	25~29歳	63.8	43.6	30.3	25.4	32.1	19.6	14.0	8.8	6.2	9.2	6.5	10.2	2.9	3.8	0.9	0.3	0.1	
	30~34歳	62.7	46.7	27.8	28.6	37.2	18.9	13.6	5.9	5.1	7.3	7.4	7.9	3.6	4.8	1.0	0.2	0.1	
女性	22歳未満	60.8	58.7	62.3	30.0	20.4	8.0	9.1	9.9	6.0	6.5	2.7	2.9	6.3	0.9	0.9	0.3	0.9	3.6
	22~24歳	66.2	55.9	43.4	21.9	22.2	8.3	9.6	11.3	5.1	10.0	4.2	4.9	14.0	3.0	2.4	0.2	0.4	7.6
	25~29歳	65.7	57.4	42.5	26.7	21.5	10.0	10.3	9.9	3.8	11.2	3.3	3.6	8.6	4.7	2.4	0.4	0.4	6.1
	30~34歳	63.5	58.2	44.2	26.4	23.0	12.8	10.3	8.1	3.5	8.8	2.3	3.8	4.7	10.6	1.2	0.3	0.3	7.5

第2 - (2) - 3図 学校を卒業した直後、最初に就いた「勤め先」について

(単位 %)

学歴	「ぜひ就職したい」と希望していた勤め先だった	「そこだったら就職してもよい」と思っていた勤め先だった	あまり就職したいとは思っていなかった勤め先だった	希望する勤め先は特になかった
大学・大学院卒	18.1	52.8	12.0	12.0
短大・高専卒	13.8	49.2	15.7	17.2
専門学校卒	16.3	49.0	13.6	16.8
中学・高校卒	15.2	45.2	11.8	23.2

第2 - (2) - 4図 現在の会社に就職する際に利用した求職方法（複数回答）

(単位 %)

年齢階級	学校・教師からの紹介	ハローワーク	家族・友人などの紹介	新聞・チラシ・就職情報誌等の求人広告	会社のホームページ	その他のインターネット就職サイト	ハローワークインターネットサービスの就職サイト	勤務先関係からの紹介	民間職業紹介会社	紹介予定派遣
22歳未満	76.2	17.0	16.5	13.2	13.1	12.5	7.5	3.9	2.7	0.7
22~24歳	44.0	20.8	21.9	20.8	37.5	48.6	14.1	3.8	7.5	1.2
25~29歳	32.1	31.4	25.9	26.9	23.0	36.1	12.1	5.5	9.6	3.0
30~34歳	28.4	30.9	29.0	33.7	9.8	14.5	8.6	8.0	11.8	2.4

第2 - (2) - 5図 前職の勤続年数

(単位 %)

学歴	半年未満	半年~1年未満	1~2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5年以上
大学・大学院卒	12.5	11.9	26.0	11.0	14.4	7.1	15.6
短大・高専卒	15.7	12.7	25.9	12.1	12.9	5.9	14.2
専門学校卒	14.0	11.0	27.7	10.1	14.0	7.0	15.9
中学・高校卒	12.6	12.4	27.1	8.8	13.6	6.1	18.0

第2 - (2) - 6図 最初に転職を考えた時期

(単位 %)

年齢階級	入社して3ヶ月以内	入社して3ヶ月から半年くらい	入社して1年くらい	入社して3年以内	入社から4年目以降
22歳未満	38.0	26.9	25.8	8.6	0.3
22～24歳	29.4	21.0	29.0	15.6	4.1
25～29歳	18.3	9.4	28.4	28.6	14.1
30～34歳	13.8	6.2	19.9	25.4	33.5

第2 - (2) - 7図 仕事上の悩み (複数回答)

(単位 %)

性	賃金が低い	仕事の内容 (仕事が面白くない等)	自分のキャリアや将来性	会社の安定性や将来性	労働時間が長い	職場や人間関係 (セクハラ・パワハラ等含む)	仕事量が多い	休日がとれない	個人的な事情 (結婚・育児・介護・家業継承等)
男性	46.2	40.8	31.0	30.1	25.5	22.0	20.5	16.8	6.0
女性	35.2	47.0	27.2	15.6	16.9	39.9	17.3	10.7	10.0

第2 - (2) - 8図 3年前と比較した社員の定着傾向の変化

(単位 %)

年齢階級	上昇	やや上昇	不変	やや低下	低下	無回答
20歳代以下	5.1	17.7	58.3	13.4	2.2	3.3
30歳代	4.3	15.8	67.3	9.6	0.8	2.2
40歳代	3.9	11.3	78.6	3.0	0.7	2.5
50歳代	4.6	9.2	79.9	2.8	0.8	2.7

第2 - (2) - 9図 定着率を高めるための施策 (4つまでの複数回答)

(単位 %)

年齢階級	賃金水準を引き上げる	職場の人間関係の改善をはかる	希望に即した配置をする	労働時間を短くする	有給休暇を取得しやすくする	職業能力開発の機会を増やす	専門能力、資格等の活用をはかる	仕事と家庭の生活の調和を図る	雇用を安定的にする	昇進を早くする	経営・事業方針への参画をはかる	社会的貢献度の高い職場にする
20歳代以下	52.4	43.9	39.6	26.7	24.1	24.1	18.7	13.4	12.8	9.6	6.4	4.3
30歳代	64.8	32.8	26.4	30.4	21.6	16.8	19.2	32.8	12.0	16.8	14.4	6.4
40歳代	54.5	29.5	25.0	25.0	20.5	11.4	25.0	38.6	18.2	15.9	29.5	11.4
50歳代	34.9	16.3	18.6	20.9	18.6	4.7	16.3	25.6	18.6	4.7	23.3	2.3

第2 - (2) - 10図 就職支援にあたり重視している基準 (複数回答)

(単位 %)

項目	企業の業種・仕事の内容	専門学校での専門分野との関連	生徒自身の能力、適性との一致	労働条件 (勤務時間、給与など)	卒業生の定着度	企業の知名度・将来性・安定性	地域条件 (勤務地、転勤の有無)	卒業生の有無
就職指導者	92.9	85.7	78.6	54.8	50.0	47.6	40.5	33.3
学生	73.8	69.0	42.9	90.5	16.7	69.0	73.8	38.1

第2 - (2) - 11図 学校生活を通じてもっと教えてほしかったこと（複数回答）

(単位 %)

項目	職業に必要な専門的知識・技能など	社会人としてのマナー	各職業の内容	職業の選び方	労働者の権利等、必要な基礎的情報	各職業の賃金・労働時間等の条件	就職活動のノウハウ	読み書きや算数等の基礎学力	フリーターや無業者のリスク	ハローワークの利用法	先輩の就職先	その他	教えてもらいたくないこと
正社員	58.5	36.0	34.9	32.2	25.3	18.3	14.9	7.3	6.9	5.7	4.4	4.3	6.3
パート・アルバイト、派遣、請負	50.1	39.5	31.5	31.8	29.4	14.8	20.5	8.0	12.2	10.1	4.2	3.6	8.9
求職者	62.2	43.2	38.1	47.1	29.9	19.4	32.4	8.3	21.2	18.7	7.6	4.3	3.6
無業者	58.8	43.5	29.9	33.6	27.5	17.3	26.4	11.0	16.7	20.4	6.6	3.8	14.9
専門学校生	44.7	36.5	24.7	21.4	32.0	20.7	23.5	9.9	12.7	11.7	14.3	4.0	8.7

第2 - (2) - 12図 会社の入社時に重視したことと現在重視していること(30歳未満) (5つまでの複数回答)

(単位 %)

項目	雇用が安定していること	自分のやりたい仕事ができること	人間関係がよいこと	会社の将来性	会社の規模や知名度	自分の能力を高めることができること	転勤がないこと	労働時間や通勤時間が短いこと	能力・適性に合った仕事であること	福利厚生が充実していること	経営理念・企業のビジョン・社風	専門知識や特長が活かせること	賃金が高いこと	社会に役立つ仕事ができること	自分のキャリア形成に役立つこと	性別に関係なく処遇されること	昇進の将来性があること	能力開発の機会が充実していること
現在の会社の入社時に重視したこと	43.1	41.3	28.3	26.9	25.6	25.5	23.6	23.0	19.8	18.9	18.2	17.4	16.9	15.7	10.3	7.9	5.7	5.3
現在重視していること	37.2	40.3	49.5	32.5	9.9	38.3	18.3	20.9	25.4	20.9	17.9	14.9	28.0	16.9	16.1	8.5	9.2	9.4

第2 - (2) - 13図 若年正社員に望むことや身につけて欲しい能力(企業規模別) (3つまでの複数回答)

(単位 %)

企業規模	コミュニケーション能力	チャレンジ精神・向上心	強い責任感	新しい感性・柔軟な発想	リーダーシップ・実行力	職業意識・勤労意欲	専門知識や技能	マナー・社会常識・一般教養	忍耐力	企画・立案力	理解力・判断力
5,000人以上	60.7	56.1	32.3	30.9	27.6	19.5	19.0	15.2	13.8	9.3	8.3
1,000~4,999人	54.6	57.6	24.9	23.7	19.0	37.8	19.0	26.1	17.5	6.5	8.6
300~999人	36.0	51.6	28.3	22.4	13.7	42.0	17.9	38.7	18.2	8.7	10.9
100~299人	30.8	48.3	32.9	18.0	13.3	48.6	18.2	37.4	17.3	7.4	14.6
30~99人	24.1	36.5	40.2	13.7	8.9	50.1	20.0	40.5	18.9	6.4	19.0

第2 - (2) - 14図 子どもの進学先の選択時の助言の内容 (複数回答)

(単位 %)

項目	希望する就職先や職業を考えて選択すべきだ	自分がやりたいことを実現できるところに進学すべきだ	働き続けることができるための資格技術を身につけることができるところに進学すべきだ	有名な学校に進学すべきだ
息子へ	51.9	71.6	43.9	6.0
娘へ	46.1	69.0	49.1	3.7

第2 - (2) - 16図 仕事や進路の情報源 (複数回答)

(単位 %)

学校	父親	母親	兄弟姉妹	学校の先生	塾や予備校の先生	友だち	先輩	アルバイト先の人	本・雑誌	新聞	テレビ	インターネット
高校	29.8	43.7	17.9	35.3	3.1	38.2	19.1	14.6	50.7	16.2	47.2	40.5
専門学校	32.1	35.8	12.8	41.9	1.1	47.2	22.6	14.7	53.6	21.1	48.7	67.9
大学	48.0	42.6	16.2	29.7	6.8	53.4	32.4	31.8	61.5	36.5	58.1	75.7

第2 - (2) - 17図 「働くこと」について子どもに伝えたいこと（複数回答）

(単位 %)

項目	働くことの心構え	働くことのおもしろさ、大切さ、大変さ	組織でうまく仕事をするために必要な知恵、人間関係など	女性も家庭にとどまらず、積極的に仕事をすべきである	女性が出産・育児によって仕事を辞めることのないよう男性も協力すべき
父親から 娘へ	65.4	59.7	45.0	34.4	11.9
母親から 娘へ	67.7	64.7	54.0	51.5	25.4
父親から 息子へ	78.9	67.1	51.1	4.5	13.5
母親から 息子へ	82.0	69.0	56.2	9.3	33.9

第2 - (2) - 18図 「結婚」時の継続就業意識

(単位 %)

年齢階級	辞めたいと思わず働き続けた	辞めたいと思ったが働き続けた	辞めたいと思わなかったが退職せざるを得なかった	辞めたいと思い退職した
45～49歳	37.9	14.7	13.9	13.8
50～54歳	36.4	13.5	13.5	18.7
55～59歳	33.2	12.4	17.5	17.6
60歳以上	32.1	11.1	18.5	20.0

第2 - (2) - 19図 「出産・育児」時の継続就業意識

(単位 %)

年齢階級	辞めたいと思わず働き続けた	辞めたいと思ったが働き続けた	辞めたいと思わなかったが退職せざるを得なかった	辞めたいと思い退職した
45～49歳	23.9	16.3	10.9	16.0
50～54歳	22.0	17.1	10.8	19.9
55～59歳	20.9	15.7	12.1	17.3
60歳以上	19.3	12.8	12.4	21.6

第2 - (2) - 20図 「結婚」時に辞めたいと思った又は退職した理由（複数回答）

(単位 %)

就業形態	配偶者・家族の理解が得られなかった	仕事と両立する自信がなかった	無理して続けるほどの魅力のある仕事でないと思った	結婚退職制があった
正社員	12.4	42.1	16.9	6.8
正社員以外	11.1	39.4	14.5	10.8

第2 - (2) - 21図 「出産・育児」時に辞めたいと思った又は退職した理由（複数回答）

(単位 %)

就業形態	配偶者・家族の理解が得られなかった	仕事と両立する自信がなかった	無理して続けるほど魅力のある仕事でないと思った	子供を預ける施設サービスがなかった	自分の手で子育てしたかった	妊娠・出産退職制があった
正社員	10.9	38.7	10.4	18.4	57.3	3.0
正社員以外	10.0	34.6	9.9	17.8	60.9	4.4

第2 - (2) - 22図 家族に関する妻の意識

(単位 %)

項目	夫は外で働き、妻は専業主婦に専念すべき			子どもが3歳くらいまでは、母親は育児に専念すべき			夫も家事や育児を平等に分担すべき			夫は、会社の仕事を優先すべき		
	1993年	1998年	2003年	1993年	1998年	2003年	1993年	1998年	2003年	1993年	1998年	2003年
まったく賛成	8.3	7.6	4.9	44.7	50.7	39.1	19.0	20.1	27.3	17.1	14.7	15.1
どちらかといえば賛成	45.3	44.7	36.2	44.4	39.4	43.8	55.0	56.6	55.5	49.8	53.2	51.8
どちらかといえば反対	36.2	37.5	42.0	8.8	7.7	12.6	23.2	21.5	15.5	28.5	28.7	29.3
まったく反対	10.2	10.2	16.9	2.2	2.2	4.6	2.7	1.8	1.6	4.6	3.4	3.8

第2 - (2) - 23図 働いている理由 (複数回答)

(単位 %)

学歴	働かないと経済的に苦しいから	社会に出ていたから	いったんやめると正社員として就職するのは難しいから	両親と同居しているなど家族が協力してくれたから	もともと結婚、出産しても働き続けるつもりだったから	夫が協力してくれたから	やりがいのある仕事をしていたので、働き続けたかったから	近くに保育所があるなど両立しやすい地域環境だったから	将来のキャリア形成のため働き続けたかったから	両立支援制度や労働時間など両立しやすい労働環境だったから
中学・高校卒	67.1	38.4	36.2	38.6	28.2	29.6	13.0	17.3	7.2	7.7
専修・専門学校、短大・高専卒	64.6	48.5	41.8	29.4	34.0	33.6	27.6	23.0	8.1	11.9
大学・大学院卒	52.2	57.3	56.9	28.6	49.0	43.5	33.7	21.6	23.5	12.5

第2 - (2) - 24図 子育て中の仕事上の悩み (複数回答)

(単位 %)

学歴	子どものために休まなければならないこと	労働時間や仕事量を制限しなければならないこと	自分のキャリア開発が後回しになること	責任のある仕事につけないこと	子育てと仕事の両立に上司や職場の理解がないこと	出張、転勤に応じられないこと	職場のつきあいに応じられないこと
中学・高校卒	71.0	32.3	9.7	10.0	14.3	5.1	24.9
専修・専門学校、短大・高専卒	72.2	40.6	17.5	12.9	16.5	9.6	28.6
大学・大学院卒	67.8	62.7	34.9	23.5	17.3	21.2	36.9

第2 - (2) - 25図 結婚・出産後も職場を辞めずに働ける会社だと思うかについての認識 (労働時間別)

(単位 %)

週平均労働時間	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそうは思わない	そうは思わない
50時間未満	19.6	30.7	28.5	12.2	8.6
50~60時間未満	14.8	25.4	28.6	17.3	13.8
60時間以上	13.2	18.7	28.2	17.0	22.7

第2 - (2) - 26図 パートを選択した理由 (複数回答)

(単位 %)

年	自分の都合のよい時間(日)に働きたいから	勤務時間・日数が短いから	家事・育児の事情で正社員として働けないから	正社員として働ける会社がないから	仕事の内容に興味を持てたから	賃金・待遇がよいから	体力的に正社員として働けないから	すぐ辞められるから	病人・老人等の介護で正社員として働けないから	友人・知人がパートで働いているから
2001年	50.0	31.2	14.0	21.1	23.8	8.4	4.9	6.2	1.8	5.9
2005年	42.7	42.4	28.9	26.5	23.9	9.8	9.6	5.1	3.5	3.1

第2 - (2) - 27図 パートタイム労働者として働く理由 (複数回答)

(単位 %)

年	家計の足しにするため	生活を維持するため	生きがい・社会参加のため	子どもに手がからなくなつたため	余暇時間を利用するため	以前の就業経験を活かすため	資格・技能を活かすため	その他
2001年	53.1	47.3	23.6	17.2	22.9	6.8	6.4	7.5
2005年	66.5	47.2	36	23.1	22.8	15	14.2	6.9

第2 - (2) - 28図 仕事と生活の調和に関わる希望と現実（男性・既婚有業者）

(単位 %)

項目	仕事優先	家事優先	仕事と家事優先	プライベートな時間優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを優先
希望	2.3	5.5	5.8	29.9	12.2	12.2	32.0
現実	51.2	3.2	16.7	4.4	14.7	2.0	7.8

第2 - (2) - 29図 年齢階級別女性労働力人口比率の推移

(単位 %)

年	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
1997年	16.8	73.4	68.2	56.2	62.3	70.9	72.2	67.9	58.7	39.8	15.4
2007年	16.2	69.5	75.8	64.0	64.3	72.0	75.6	70.8	60.8	42.2	12.9

第2 - (2) - 30図 女性の労働力人口比率および潜在的労働力人口比率

(単位 %)

学歴		15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
中学・高校等卒	労働力人口比率	77.2	66.2	69.2	73.3	52.8	13.0
	潜在的労働力人口比率	86.1	78.4	80.0	79.2	56.7	13.9
大学等卒	労働力人口比率	92.7	77.0	67.5	72.4	54.7	17.2
	潜在的労働力人口比率	97.6	86.3	79.2	77.6	58.5	20.7

第2 - (2) - 31図 「団塊の世代」が仕事をしたいと思う上限年齢

(単位 %)

就業形態	60歳未満	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71歳以上	無回答
正社員	1.6	12.2	12.7	45.8	2.0	21.1	3.4	1.2
パートタイマー	1.8	16.3	12.0	47.2	1.5	17.8	1.8	1.5
自営業主	0.6	5.0	1.9	26.7	2.8	41.8	16.2	5.0
家族従業者	0.0	11.7	1.1	45.3	1.7	30.2	8.4	1.7

第2 - (2) - 32図 各年齢時における希望就業形態

(単位 %)

年齢	正社員として働く	契約社員や嘱託として働く	短時間勤務で働く	自営業を営む	親族や知人の事業を手伝う	ボランティア活動をする	仕事や社会的活動はしない
61歳	45.1	28.1	16.6	4.7	1.8	10.9	3.0
62歳	43.6	27.9	17.4	4.5	1.6	10.9	3.2
63歳	38.3	28.3	19.3	4.8	1.8	12.3	4.1
64歳	30.2	26.6	23.7	5.0	2.0	14.7	5.6
65歳	28.8	24.0	24.6	5.9	2.6	16.7	7.7
66歳	5.0	10.8	23.6	6.6	3.4	28.0	21.9
67歳	4.4	10.2	23.3	6.9	3.3	27.9	23.4
68歳	4.1	8.5	21.7	6.8	3.4	27.2	26.1
69歳	4.1	7.6	20.0	6.6	3.4	27.0	28.3
70歳以降	2.5	5.3	17.4	6.0	2.9	26.1	35.3



第2 - (2) - 33図 60歳以降における就業動機（複数回答）

（単位 %）

現在の就業形態		収入を得るため	自分の知識や能力を活かすため	健康や体力を維持するため	働くのが当たり前だから	家に居場所がないため
男性	雇用者	80.9	31.9	56.1	21.5	3.1
	自営業主	78.9	40.1	47.7	40.8	0.3
	家族従業者	78.3	39.1	52.2	43.5	8.7
女性	雇用者	79.0	23.8	59.5	18.9	0.6
	自営業主	65.5	47.3	45.5	41.8	0.0
	家族従業者	67.9	17.9	42.3	28.2	1.3

第2 - (2) - 34図 60歳以降仕事をする場合のこれまでの仕事との類似性希望状況（複数回答）

（単位 %）

就業形態	これまでと同様の仕事	同様ではないがこれまでの知識や経験を活かせる仕事	これまでと異なる分野の仕事	とくに仕事の内容にはこだわらない	なんともいえない
正社員	46.3	39.4	13.2	24.8	4.7
パートタイマー	60.7	21.8	4.0	29.1	4.0
自営業主	79.9	20.6	5.8	12.8	1.4
家族従業者	75.4	6.7	5.6	12.8	5.6

第2 - (2) - 35図 高齢就業数変化の要因分解

（単位 万人）

年	人口寄与			労働力率寄与			労働市場状態寄与			就業者数変化		
	55-59歳	60-64歳	65歳以上	55-59歳	60-64歳	65歳以上	55-59歳	60-64歳	65歳以上	55-59歳	60-64歳	65歳以上
1985～90年	50.7	70.1	59.3	19.3	10.4	0.0	6.8	4.6	3.0	76.0	84.0	62.0
1990～95年	13.7	39.1	80.4	19.1	8.1	3.3	-2.3	-8.7	-2.0	30.0	39.0	81.0
1995～2000年	63.0	13.1	84.9	7.3	-8.4	-37.3	-9.4	-9.7	-4.2	60.0	-5.0	44.0
2000～05年	100.7	42.3	76.0	5.4	-6.1	-64.8	2.2	13.8	1.0	108.0	50.0	13.0
2005～07年	31.2	-7.5	36.2	1.7	24.7	7.9	5.1	4.8	0.9	38.0	22.0	45.0

第2 - (2) - 36図 就業継続のために必要な措置（複数回答）

（単位 %）

雇用形態	定年年齢以降も引き続き雇用を継続する制度整備	定年年齢の延長	賃金や処遇を見直す	少ない日数での勤務ができるようにする	短時間勤務ができるようにする	技能や知識の引き継ぎのための指導者として活用	仕事の内容を見直す	特別の措置は必要ない	定年年齢そのものの撤廃	高齢者の再教育や訓練を行う
正社員	46.8	36.2	31.7	29.2	27.7	19.8	19.0	15.3	10.7	7.8
パートタイマー	32.3	26.5	14.2	31.0	30.5	12.8	17.3	21.2	16.4	5.8

第2 - (2) - 37図 就業上限年齢の実現可能性の判断

（単位 %）

就業形態	実現すると思う	条件さえ整えば実現できると思う	実現は難しいと思う	なんともいえない	無回答
雇用者	28.9	37.1	14.9	18.0	1.1
自営業主	39.3	33.7	10.9	13.9	2.2
家族従業者	32.4	37.4	11.7	17.3	1.1

第2 - (3) - 1図 年齢階級別仕事意欲D.I.

年齢階級	仕事意欲D.I.
年齢計	5.0
30歳未満	12.6
30～39歳	10.6
40～49歳	-0.2
50～59歳	-8.2
60歳以上	-6.2

第2 - (3) - 5図 仕事に対する意欲が低くなった理由（上位10項目・複数回答）  
（単位 %）

理由	年齢計	50～59歳
賃金が低いから	46.8	40.0
評価の納得性が確保されていないから	35.6	40.0
職場のコミュニケーションが円滑でないから	24.2	25.9
昇進に対する展望が乏しいから	21.4	19.4
仕事を通じて学べるものが少ないから	21.1	17.9
労働時間が長いから	20.5	18.5
雇用の安定性に不安を感じるから	19.2	18.8
会社の経営方針・事業計画等の情報が提供されていないから	18.5	19.4
仕事上の責任が重すぎるから	14.9	15.9
仕事の裁量性が低いから	13.6	20.0
メンタルヘルス対策が不十分であるから	12.2	8.5
職業能力開発の機会が乏しいから	11.8	7.1
福利厚生が充実していないから	10.3	10.6
会社からキャリア形成支援が得られないから	6.8	3.8
自分の希望で配置された仕事だから	1.0	1.8

第2 - (3) - 6図 年齢階級別満足感D.I.

年齢階級	満足感D.I.
年齢計	-9.5
30歳未満	-7.2
30～39歳	-10.6
40～49歳	-14.4
50～59歳	-6.1
60歳以上	14.4

第2 - (3) - 7図 満足感が低下している理由（複数回答）

理由	年齢計	40～49歳
仕事に見合った賃金が得られないから	43.4	43.8
仕事を通じて自分が成長できると思えないから	32.6	31.1
仕事を通じて自分の個性を発揮できると思えないから	28.9	28.6
休暇がとりにくいから	25.0	24.8
仕事を通じて社会に役立っているという実感が無いから	20.3	18.7
雇用の安定性に不安があるから	17.4	22.4
労働時間短縮が進まないから	16.1	17.0

第2 - (3) - 8図 3年前と比較した従業員意識の変化

項目	（単位 %）				
	高まった	変わらない	低下した	わからない	無回答
自分が行う職務分野への関心	51.9	33.3	10.2	2.3	2.2
職場での評価に対する関心	30.2	46.8	17.4	3.1	2.5
職業生活を通じたキャリア形成への関心	29.1	49.4	13.0	5.7	2.8
賃金より仕事のやりがいを重視する意識	23.8	49.8	21.0	3.2	2.2
会社での地位の向上に関する意識	21.7	55.0	17.3	3.6	2.4
会社に対する忠誠心・帰属心	16.4	51.7	26.1	3.6	2.3
生活よりも仕事優先の意識	12.9	50.0	31.9	2.9	2.3

第2 - (3) - 9図 年齢階級別従業員意識D.I.

性・年齢階級	生活よりも仕事優先の意識	会社に対する忠誠心・帰属心
男女計 計	-27.0	-16.6
男性 30歳未満	-12.0	-8.4
30～39歳	-26.7	-15.5
40～49歳	-26.2	-18.7
50～59歳	-30.2	-15.4
女性 30歳未満	-27.0	-11.9
30～39歳	-38.7	-25.5
40～49歳	-33.6	-29.4
50～59歳	-14.6	-12.3

第2 - (3) - 10図 今後の雇用形態の組み合わせ

(単位 %) )

項目	企業割合
今後も長期雇用労働者を中心にする	29.2
長期雇用労働者中心だが、パート・派遣等の比率を拡大する	52.0
長期雇用労働者は中核業務のみとする	14.8
その他	4.1

第2 - (3) - 11図 非正社員が増加した要因 (非正社員が増加した事業所)

(単位 %)

企業規模	労務コスト削減のため	新規学卒者を正社員採用するよりも、即戦力の人材を確保したい	将来の見通しが立たず正社員を採用できないため	業務分担を見直し、正社員の負担を減らす必要があったため	情報機器やソフトウェアの活用により作業の標準化が可能になった	労働者が柔軟な就業形態を求めようになったから	新規学卒者を正社員採用し、育成のためのコストをかけられない	業務のマニュアル化が進んだから
合計	80.3	40.7	28.5	36.6	20.3	18.6	13.6	14.6
企業規模300人未満	77.1	45.0	33.6	33.6	17.9	16.4	14.3	8.6
企業規模300人以上	83.2	36.8	23.9	39.4	22.6	20.6	12.9	20.0

第2 - (3) - 12図 従業員規模別パート、派遣、契約社員等の割合 (非農林業)

(単位 %)

年	1～29人	30～99人	100～499人	500人以上
1987	26.8	18.4	14.8	10.2
1997	32.1	25.1	21.1	16.1
2007	39.2	35.2	34.7	30.1

第2 - (3) - 13図 会社・仕事への不満・不安がある労働者の割合

(単位 %)

年・形態・性	合計	不満・不安がある	不満・不安はない	不明		
2006年	パート	男女計	100.0	63.9	33.8	2.3
		男性	100.0	54.3	43.1	2.6
		女性	100.0	67.2	30.6	2.2
	その他	男女計	100.0	70.4	27.3	2.3
		男性	100.0	61.2	36.9	2.0
		女性	100.0	79.3	18.1	2.6
2001年	パート	男女計	100.0	54.3	45.1	0.6
		男性	100.0	42.2	57.6	0.2
		女性	100.0	58.0	41.3	0.7
	その他	男女計	100.0	60.5	39.1	0.4
		男性	100.0	56.0	43.7	0.3
		女性	100.0	63.8	35.7	0.5

第2 - (3) - 15図 年齢階級別現在の仕事への満足者割合  
(単位 %)

性・年齢階級		就業形態計	正社員	非正社員	うち、正社員になれなかったから
男女計	合計	35.3	33.0	40.6	30.2
	29歳以下	30.4	29.9	31.9	28.2
	30～39歳	30.5	29.6	33.4	28.0
	40～49歳	34.1	32.7	37.8	24.0
	50～59歳	42.5	42.3	42.8	33.6
	60歳以上	58.8	37.5	61.7	60.7

第2 - (3) - 16図 実質経済成長率、完全失業率とその見通し  
(単位 %)

年度	実質経済成長率	完全失業率
2000	2.6	4.7
01	-0.8	5.2
02	1.1	5.4
03	2.1	5.1
04	2.0	4.6
05	2.4	4.3
06	2.5	4.1
07	1.5	3.8
08	2.0	3.8

第2 - (3) - 17図 時間あたり賃金（前年比）と完全失業率の相関  
(単位 %)

年	時間あたり賃金指数 (前年比)	完全失業率
1980	6.1	2.0
81	5.1	2.2
82	3.7	2.4
83	2.8	2.6
84	4.8	2.7
85	2.0	2.6
86	2.2	2.8
87	2.4	2.8
88	3.7	2.5
89	2.9	2.3
90	3.5	2.1
91	1.2	2.1
92	-0.8	2.2
93	-1.8	2.5
94	1.3	2.9
95	2.3	3.2
96	1.7	3.4
97	1.0	3.4
98	-2.4	4.1
99	-2.4	4.7
2000	0.6	4.7
01	-1.6	5.0
02	-3.7	5.4
03	0.2	5.3
04	-0.3	4.7
05	0.5	4.4
06	1.7	4.1
07	-0.3	3.9

第2 - (3) - 18図 消費者物価（前年比）と完全失業率の相関  
(単位 %)

年	消費者物価指数 (前年比)	完全失業率
1980	7.6	2.0
81	4.7	2.2
82	3.1	2.4
83	1.8	2.6
84	2.1	2.7
85	2.0	2.6
86	0.8	2.8
87	0.3	2.8
88	0.5	2.5
89	2.4	2.3
90	2.6	2.1
91	2.9	2.1
92	2.3	2.2
93	1.3	2.5
94	0.7	2.9
95	0.0	3.2
96	0.2	3.4
97	1.7	3.4
98	0.4	4.1
99	0.0	4.7
2000	-0.5	4.7
01	-0.8	5.0
02	-0.9	5.4
03	-0.3	5.3
04	-0.1	4.7
05	-0.1	4.4
06	0.1	4.1
07	0.0	3.9
2008.3	1.2	3.8

## 第2 - (3) - 19図 実質経済成長率の寄与度分解

(単位 %) )

年	実質経済 成長率	労働生産 性要因	就業者数 要因	労働時間 数要因
1981	2.9	2.5	0.8	-0.4
82	2.8	2.0	1.0	-0.3
83	1.6	-0.2	1.7	0.1
84	3.1	1.6	0.6	1.0
85	5.1	5.1	0.7	-0.7
86	3.0	2.6	0.8	-0.4
87	3.8	2.4	1.0	0.4
88	6.8	4.9	1.7	0.2
89	5.3	4.7	1.9	-1.3
90	5.2	4.4	2.0	-1.2
91	3.4	3.6	1.9	-2.2
92	1.0	2.5	1.1	-2.6
93	0.2	2.4	0.2	-2.4
94	1.1	1.4	0.0	-0.4
95	2.0	1.5	0.1	0.4
96	2.7	2.1	0.4	0.2
97	1.6	1.5	1.1	-1.0
98	-2.0	-0.3	-0.7	-1.1
99	-0.1	1.6	-0.8	-1.0
2000	2.9	2.3	-0.2	0.8
01	0.2	1.4	-0.5	-0.7
02	0.3	2.3	-1.3	-0.8
03	1.4	1.3	-0.2	0.3
04	2.7	2.0	0.2	0.5
05	1.9	2.0	0.4	-0.5
06	2.4	1.3	0.4	0.7

## 第2 - (3) - 20図 労働力人口の推移と見通し

(単位 万人)

項目	実績値 (労働力調査)								推計値 (安定局推計)		
	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2006年	2012年	2017年	2030年
労働市場への参加が進まない場合	5,153	5,323	5,650	5,963	6,384	6,666	6,766	6,657	6,426	6,217	5,584
労働市場への参加が進む場合	5,153	5,323	5,650	5,963	6,384	6,666	6,766	6,657	6,628	6,556	6,180